



第312号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月の目次

- 平成28年の新年を迎えて ..... 1
- ふれあいの祭典～淡路ふれあいフェスティバル～・《各部局報告》・第5回神戸マラソンに参加しました ..... 2～3
- 《行事予定表》 ..... 4～5
- 《賛助会員コラム》・《各部局報告》・《求人情報》 ..... 6～7

## 平成28年の新年を迎えて

(公・社) 兵庫県臨床検査技師会

会 長 中町 祐司

新年明けましておめでとうございます。

健やかに年の初めを迎えられたことご慶賀いたします。

本年は申年です。申は、稲妻(イナズマ)を表す象形文字で「電」の原字で、まっすぐに伸びきるといふ意を含んでいます。中国の前漢のことを記した歴史書「漢書(律曆志)」では、「申堅」とし、草木が伸びきり、果実が成熟して堅くなっていく状態を表すと解釈されています。また、これを動物の「猿」としたのは、その昔、庶民に十二支を浸透させるためだったと云われています。

昨今、2025年問題がささやかれています。2025年は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する年です。2200万人、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来すると予想されています。このような少子高齢化の中で医師不足、病院や診療所中心の医療から在宅中心の医療、病院の機能分化の加速が唱われています。臨床検査技師は現在、比較的、みんなが同じような業務を行っていますが、医療体制の変化にともない仕事の内容也多岐にわたると考えられます。一人一人が患者さんにとってよりよい医療を提供するにはどうすればよいかを考え行動し、積極的に新たな分野にChallengeしなければならないのではないのでしょうか。

本年8月末から神戸国際会議場を中心として日本医学検査学会、日本臨床検査医学会、日本臨床検査学教育学会とIFBLS世界臨床検査学会が同時開催されます。日本医学検査学会は兵庫県臨床検査技師会が担当いたします。メインテーマは「Challenge」 サブテーマは「伝統の継続と未来への進化」といたしました。日本臨床検査医学会も同じメインテーマ「Challenge」です。また、日本臨床検査医学会とは多くのシンポジウムなどを共催開催として臨床医(検査医)の視線からの意見も聞けるようにし、病態の理解を深めようと思っています。また、世界の臨床検査情報を知るためにIFBLS国際学会とも共催シンポジウムを企画中です。会員の皆さんの記憶に残る学会になればと思っていますので、皆様のご協力およびご参加のほどよろしくお願いいたします。

また、本年は日本臨床衛生検査技師会 宮島よしふみ会長が夏の参議院選にChallengeすることになっています。

最後になりましたが、県をはじめ行政機関、関係団体、賛助会員の方々には旧年中、お世話になり大変感謝いたしております。本年も「臨床検査を通して県民に良質な医療を提供する」をモットーに活動いたしますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、会員の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。また、皆様がいままでの概念にとらわれることなく、患者さんにとって臨床検査技師がなにをなすべきかを考えてChallengeし、臨床検査がまっすぐに成長できる年になることを祈念いたします。

## ふれあいの祭典 ～淡路ふれあいフェスティバル～

兵庫県では毎年1回、県内の各地域持ち回りで「ふれあいフェスティバル」を開催しています。平成27年度は、11月14日、15日に淡路環境未来島構想をすすめる淡路地域で、食のブランド「淡路島」オータムメッセと一体的に開催し、「健康福祉まつり」をその中で行いました。当会も「健康福祉まつり」へ参加し、診断に欠かすことの出来ない臨床検査を多くの方々に知っていただく「検査と健康展」を実施致しました。



### ＜淡路ふれあいフェスティバルでの活動報告＞

“体を見て、診る、臨床検査で健康に！”をテーマに、診断に欠かすことの出来ない臨床検査に関する説明と、検査実演として、血管年齢測定やヘモグロビン、体脂肪測定、貧血チェック、頸動脈エコーなど開始から終了まで途切れることなく、一般のみなさん約200名の方に体験していただきました。さらに日臨技リーフレット、臨床検査技師の職業紹介チラシ等、検査に関する資料配布も約350部を配り終えました。

終日雨で足元が悪く、寒さも厳しいなかでも多くの参加者が来訪され、ただ検査を受けて結果を見るだけでなく、熱心に質問をされる姿も見受けられました。血管年齢やエコーの結果を見て、「たばこをすぐに辞めることはできないけど、週に1本ずつ減らすくらいなら頑張れるかな・・・。」と禁煙を前向きに考えてくださる方もいました。一般の方の健康と検診・検査に対する関心度の高さが伺えました。今回の出展を通して臨床検査技師の役割や臨床検査について、たくさんの方々に広く知っていただけたと思います。

(文責：広報部)



## 各局局報告

### 組 織

### 第3回西播地区グループ研修会に参加して (11月18日)

竹内 一馬 (公立宍粟総合病院)



島田先生

今回のテーマは「おさえておくべき免疫検査の最新情報～検査の現場に求められることと、変化への対応～」というテーマで島田敦史先生(アボットジャパン(株))に厚労省の医療ガイドラインに基づいて免疫検査を中心に様々な検査についてお話していただきました。

中でも化学療法によって再燃するB型肝炎対策について、以前にもお話を聞く機会があったのですが検査の進め方など知識としてはっきりしていなかった部分もあり、今回ガイドラインを含め説明していただき再認識できました。また、HIVの現状についてもお話いただきました。術前検査で行っている施設が梅毒の検査に比べ半数程度ですが、それにより見つかった症例数はHIVの方が多いというデータを見せていただき、改めて検査の重要性を感じました。その他にも腫瘍マーカーのお話など幅広い内容を聞くことができました。

今回得た知識を今後の検査に活かしていけたらと感じました。



# 第5回神戸マラソンに参加しました

広報委員 増井 裕 (川崎病院)



スタート前

11月15日第5回神戸マラソンがありました。今回も4.3倍と多数の応募があり抽選の結果外れました。でもその後、追加当選という妙なものに引っかかって走るようになりました。

10月中旬ぐらいから神戸の街ではにわかにジョギングをする人が増えてきます。しかし、僕は一切練習しませんでした。なぜならば、膝が痛くおまけに腰痛もあります。と自分で正当な言い訳を見つけて只々自堕落な生活をしてただけです。

当日の朝は少し霧雨みたいで、テンションなんて全く上がりません。なんとか中止にならないかなと思いつつ、そんなことは絶対にありえるはずがないのでしぶしぶと電車に乗りました。電車に乗ってびっくり。ほとんどがジャージ姿。まあ2万人弱の人が会場に向かうから当たり前だけど。世の中こんなに物好きがいるのだと感心します。もちろん自分もその一人なのですが。

スタートは午前9時。でもスタート地点には1時間前ぐらいから待機しないといけません。この待ち時間がとても苦痛です。布団でも敷いて横になって待ちたいぐらいです。そして9時前に誰か起こしてほしい気分です。しかし、僕らは今からマラソンを走るアスリート。頬っぺた、太ももをパンパン叩き気持ちを奮い立たせました。

いよいよ開会式。空も明るくなってきて、震災復興のコーラスが流れるとやはり気持ちが引き締まります。このときは震災のことを思い出し、生きていることに感謝しました。ヘリコプターが数機飛んでいます。だんだんとテンションが上がってきました。いよいよ号砲。でもなかなか前に進めません。初詣の参拝みたいにぞろぞろと歩く感じです。沿道は人、人、人。声援を聞くとやっぱり参加して良かったなあと思いました。

と、それもつかの間。10キロぐらいからじわじわと足が重くなってきました。ああ、参加せずに家でごろごろしとくべきやった。何で参加したのだろうか。ウーン。実はこの記事を書く為です。毎月、HYOGOニュースを編集するときにどうやって空欄を埋めていくかがテーマになります。だから検査とは関係のないこのような記事を書けることにしました。みなさんHYOGOニュース読んでいますか？この記事以外はしっかり読んでくださいよ！

あれやこれや考えながら須磨、垂水、舞子とちんたらちんたらと走り？(歩き)ました。いつもはこの道は車がたくさん走っていますが、本日は通行止め。空気がきれいで気持ち良かったです。もうすぐ折り返しというところで、大会最高齢の90歳のおじいちゃんに抜かれました。おじいちゃんガンバレ。と自分がマラソンに参加していることを忘れて応援してしまいました。

ああ、こうなったらゴールだけはしようと考えようになりました。制限時間は7時間。まだまだ時間には余裕があります。歩いてでもゴールできそうです。スキップでもできるかも。いやいやでんぐり返ししながらでもゴールできるかも。ランナーズハイってあると聞きますが、それとは別のホルモンが脳からでてきたのかもしれない。訳のわからないことがどんどん頭に浮かびます。マラソン大会というよりはウォークラリー的な参加をしている気分です。



ゴール後

神戸大橋までやってきました。この橋の真ん中を歩けるのは貴重な体験です。普段ここを歩いたら、別の世界に行ってしまうか、HYOGOニュースどころか全国紙に掲載されるでしょう。いよいよもうすぐゴール。ゴール前では「自分で自分をほめたい」と言っていた名選手が「早よう走れ！」ゴール寸前の他人の僕たちに怒鳴っていました。ぎりぎりゴール。残り時間あと3秒。制限時間いっぱいまで楽しめました。抽選で外れた人ごめんなさい。

今年も一年HYOGOニュースよろしくお願ひします。それとみなさんと兵臨技を盛り上げていきましょう。



競技中



賛助会員

コラム [45]

富士フイルムメディカル(株)

FUJIFILM

Value from Innovation

## フィルムの技術を医療の現場へ

池田 正尚 (関西四国地区営業本部 POCTシステムセンター)

皆様あけましておめでとうございます。平素は格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。今回のコラムは富士フイルムメディカル株式会社の紹介をさせていただきます。

富士フイルムは1965年に医療用X線フィルム自動現像機の販売、サービスとして富士機器販売株式会社を創立、1981年にX線画像のデジタル化に成功し、1983年には世界で初めて「FCR」製品化致しました。現在ではフィルム・デジタル画像システム以外にも内視鏡・超音波装置、ITネットワーク等、メディカル全般を取り扱う販売会社へ拡大、発展し2015年創立50周年を迎える事ができました。

臨床検査分野においては1984年に生化学分析装置「富士ドライケム1000」を発売、フィルム技術を応用したドライ試薬を用い、給排水が不要で100V電源があれば生化学検査がリアルタイムに測定できる機器を発売しました。その後、測定項目の拡大、機器の改良を進めて、現在では操作も簡便で、又、装置の移動も容易なため、検査室を中心に病院のサテライト、災害対策の現場などでもご使用いただいております。

2012年には、高感度インフルエンザ検査が可能な「富士ドライケムIMMUNO AG1」を発売、フィルム製造で培った技術を感染症検査分野にも応用しております。

また、多くのご施設様におかれましては、特にアンモニア専用検査装置「富士ドライケム100N」においてお世話になっておりますが、近年、通信機能のお問い合わせをいただく事が増えてまいりました。富士ドライケム100Nには通信機能が備わっておらず、ご使用中の皆様には大変ご不便をおかけしておりましたが、昨年発売させていただいた「富士ドライケムNX10N」は通信機能を搭載し、又、磁気カードによる補正が可能となり性能を向上させました。

「FDCシリーズ」は2014年に発売30周年を迎える事ができました。これはひとえに皆様方のご支援、ご愛顧のお陰です、誠にありがとうございました。

これからも、医療分野の一員としてより良い製品を開発、製造、提案販売することで医療現場に貢献できるよう邁進してまいります。

今後ともわたしたち富士フイルムメディカル(株)をどうぞよろしくお願い申し上げます。



第64回日本医学検査学会



日本臨床検査自動化学会 第47回大会

## 学術・組織

## 第10回丹但地区学術組織合同研修会を開催して (11月7日)



中島 正之 (公立八鹿病院)

今回の第10回丹但地区学術組織合同研修会は感染症をテーマに企画いたしました。最初の演題は、最近のC型肝炎治療について近藤雅紀先生(ロシュダイアグノスティックス株)に講演いただきました。最近のC型肝炎治療はインターフェロンによる治療が無効であった患者にも高い治療効果が得られ、高齢者や代償性肝硬変患者も治療対象となり、副作用が少なく治療期間が短いため患者負担が軽減しているものの、薬剤耐性変異やHCV排除後の肝臓がんの発生が課題であるとの内容でした。次の演題は、HCV抗体検査の運用ポイントについて出口松夫先生(大阪大学医学部附属病院臨床検査部)にご講演いただきました。HCV抗体検査試薬は可能な限り検出率の高い試薬を選択することが重要で、検出感度を評価するには、抗原の種類、反応時間と温度、試薬濃度などがポイントとなること、HCV抗体検査試薬9種の検討で試薬間の判定不一致は1~3%存在することを認識する必要がある、HCV抗体陽性検体の確認には同等の感度を有する別の試薬で再測定を行うなど、自施設の運用も含めて講演いただきました。後半の演題では出口先生の熱心な講演で予定を約1時間延長しましたが、参加者全員が最後まで熱心に聴講し質疑応答も活発に行われ有意義な研修会となりました。



近藤先生



出口先生

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

## ●社会医療法人愛仁会 千船病院

交通：阪神本線千船駅下車 徒歩1分  
 採用条件：正社員(当直・外来残業 当番制)  
 業務内容：生理検査、超音波検査、検体検査  
 連絡先：0798-43-2031 杏和総合医学研究所  
 (検査部長 池辺)

## ●地方独立行政法人 明石市立市民病院

交通：JR・山陽明石駅下車 徒歩15分  
 神姫バス5分  
 採用条件：臨時職員(契約)  
 業務内容：検査業務全般  
 連絡先：078-912-2323(人事・教育係 <sup>ながみ</sup> 永見)

## ●医療法人一高会 野村海浜病院

交通：JR須磨駅、須磨海浜公園駅下車  
 徒歩約10分  
 採用条件：正社員  
 業務内容：検査業務全般、健診業務  
 連絡先：078-731-6471(検査科 吉田)

## ●医療法人芙蓉会 姫路愛和病院

交通：山陽電鉄亀山駅下車 徒歩5分  
 採用条件：非常勤 8:30~12:00  
 業務内容：検査全般(主に超音波検査)  
 連絡先：079-234-6629(総務課 伊東)

## ●医療法人 川崎病院

交通：市営地下鉄湊川公園駅下車 徒歩5分  
 神戸電鉄湊川駅下車 徒歩5分  
 採用条件：臨時職員(勤務日、勤務時間相談)  
 扶養範囲内可  
 業務内容：検体検査、生理検査業務他  
 連絡先：078-511-3131(総務課 中満)

## ●神戸常盤大学保健科学部医療検査学科

交通：JR神戸線新長田駅 徒歩15分  
 神戸高速鉄道・山陽電鉄 西代駅徒歩9分  
 採用条件：常勤(任期なし)  
 業務内容：専任教員  
 生理機能検査学、生理機能検査学  
 実習、臨床検査技師国家資格取得  
 に向けた指導等  
 連絡先：078-611-1838  
 (神戸常盤大学 法人本部企画調整課 小谷)  
 Mail: kikaku@kobe-tokiwa.ac.jp  
 ※選考方法：書類選考(1月中旬頃)後、必要に応じて面接を実施。その際の旅費は自己負担。

**会 告** 平成27年度臨時総会招集について(要点説明)

日臨技では定款第16条3項一の規定により、平成27年度臨時総会を開催いたしますので、会員各位のご出席をお願いいたします。詳細は、「平成27年度臨時総会招集ご通知」(正文) ※電子ブックをご覧ください。「平成27年度臨時総会招集ご通知」(正文) 及び議決権行使書(はがき)は、会員へ印刷物としても送付しております。議決権を有する正会員におかれましては、以下のいずれかの方法により、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

**議決権行使方法のご案内**

電磁的方法による議決権行使サイト URL <https://jamtjamtis.jamt.or.jp/JamtisPoll/>

**○当日出席できる正会員**

議決権行使書(はがき)で出席を登録または電磁的方法(上記サイト)で出席を登録  
当日は会員証をご持参ください。

**○当日出席できない正会員(1または2のいずれかを選択)**

1. 議案に対して事前に議決権を行使(2つの方法があります) 議決権行使書(はがき)で行使または電磁的方法(上記サイト)で行使
2. 代理人を指定して議決権行使を委任(2つの方法があります) 議決権行使書(はがき)で委任または電磁的方法(上記サイト)で委任

- 注)
1. 書面(議決権行使書)は総会前日までに到着が必要です。
  2. 電磁的方法でパスワードがわからない方は仮パスワードを利用できます。
  3. 書面・電磁の両方を重複して行った場合は、電磁的方法による内容が優先採用されます。
  4. 当日出席できない正会員も、事前議決権行使や代理人委任により「出席」扱いとなります。
  5. 電磁的方法の登録は総会前日の15時で締切となります。

## 未来をみつめて技術の進歩と 予防医学の向上に努力を続けています

—化学を通じて豊かな未来づくりに貢献する専門商社—

試薬・化学工業用薬品・臨床検査用試薬・機器



# 広瀬化学薬品株式会社

本 社 〒650-0046 神戸市中央区港島中町2丁目2番2号  
TEL(078)303-3800(代) FAX(078)303-3700  
兵庫西支店 〒674-0074 明石市魚住町清水字井桶田  
TEL(078)942-2511(代) FAX(078)942-2515  
<http://www.hirosechem.co.jp/>